

「大肥の郷まちづくり会議」×「おとな先生」とのコラボレーション企画

「大肥の郷まちづくり将来ビジョンをもとに、みんなで地域の将来を考えよう」

- 開催日時 【第1回目】令和4年12月19日(月) 【第2回目】令和5年2月6日(月)
- 開催場所 大明中学校体育館
- 参加者 大肥の郷まちづくり会議メンバー、大明中学校1年生～3年生 51名の生徒の皆さん、一般社団法人NINAU(ニナウ)
- 内容 **「大肥の郷まちづくり会議」のメンバーが「おとな先生」となり、「大肥の郷まちづくり将来ビジョン」をもとに、大明中学校の生徒の皆さんがビジョンの内容を実現するために自分たちが取り組めそうなこと、地域のおとなと一緒に取り組めそうなことなどを話し合いました。**

※「おとな先生」とは？

「おとな先生」は市の事業で、日田市で働くおとなが学校の授業の中で〔自分の仕事について〕こどもたちに話をする企画です。こどもの頃から仕事について知り、将来の進路や仕事について自分で考えられるこどもを地域と企業で育てていこうという取り組みです。一般社団法人NINAU(ニナウ)が市から事業を受託して実施しています。

大肥の郷まちづくり会議では、令和4年12月19日及び令和5年2月6日に、「大肥の郷まちづくり会議」×「おとな先生」のコラボレーション企画として、大明中学校全校生徒の皆さんと大鶴・夜明地区のまちづくりに関する意見交換会(グループワーク)を行いました。今号では、その内容をお伝えします。

「第1回目」 12月19日(月)



○これまで大肥の郷まちづくり会議のメンバーと地域の方々と集まって話し合い、大鶴・夜明地区の目指す将来像を示す「大肥の郷まちづくり将来ビジョン」を策定しました。

○これからはビジョンの内容の実現に向けて、さらに地域の皆さんと一緒に話し合いを行って具体的に何をやるかを決めていく予定です。

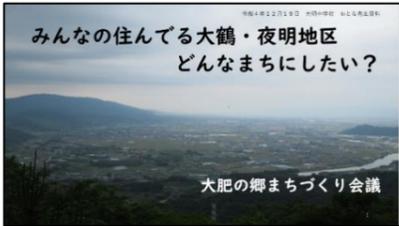
○わたしたちは、この「おとな先生」をきっかけに大明中学校の皆さんにも大鶴・夜明地区の未来について、これから一緒に考えてもらいたいと思っています。

○この地域の未来を担う皆さんから、大人たちでは考えつかないようなこと、面白いこと、何でも良いので教えてください。一緒に考えていきましょう！



「大肥の郷まちづくり会議」 梶原孝俊会長

★大肥の郷まちづくり会議の川述副会長から「大肥の郷まちづくり将来ビジョンができるまでの経緯等」を説明



みなさんの意見が「大肥の郷まちづくり将来ビジョン」に反映されています！



①地域の資源を活かした地域振興

ワーキンググループ会議での意見

- ・野暮も野暮もおいしく育つ
- ・大肥川の歴史が活かせる
- ・大鶴大原 井上津之助の生誕地、行徳家
- ・地下水(飲み水)、井戸水、上宮町の湧水などが豊か
- ・酒造所が2か所もある
- ・上宮町の家がきれいで、上宮町の棚田の景色が良い
- ・日田どんの里、宮崎の地など交流が多い
- ・三日月山展望台の展望が良い
- ・夜明の鐘
- ・ワーキングに合った地域
- ・夜明駅の写真スポット
- ・人の温かさ

キーワード

- ・地域の歴史の伝承
- ・四季を通した景観の活用
- ・水や人、魅力的な地域資源の活用

＜この地域の長所＞

- ・自然が豊かで景色が良い
- ・水がきれい
- ・空気が澄んでいてきれい

＜地域の長所＞

- ・きれいな風景
- ・豊かな自然
- ・空気がきれい
- ・歴史を知りたてて仲間が良い
- ・水がきれい



「大肥の郷まちづくり会議」 川述副会長が説明

★大肥の郷まちづくり将来ビジョンの内容を見て、自分たちで取り組めそうなことなどを話し合いました



裏面は「第2回目(2/6)」の内容です→

